

国立大学法人山口大学 中期目標

(前文) 大学の基本的な目標

地域の基幹総合大学として、さらなる教育・研究の発展・充実を目指しつつ、地域に根ざした社会連携を進め、明治維新発祥の地に根付く「挑戦と変革の精神」を受け継ぎ、アジア・太平洋圏において独自の特徴を持つ大学へと進化していきます。そのために、次の基本的な目標を掲げます。

【教育】～学生とともに成長する～

教育理念に掲げる“発見し・はぐくみ・かたちにする 知の広場”を創出し、さらに全ての大学人が、地域や世界の人々とのあらゆる垣根を越えて多様性を許容し、共同・共育・共有の精神である“山大スピリット”を持って成長し続ける大学を目指します。そのため、社会の期待に応えるべく質の保証を担保し、国際標準に沿った教育を展開することにより、「課題解決力」、「自己研鑽力」、「チャレンジ精神」などの「人間力」を備え、「国際理解力」と「高い専門能力」を持ち、イノベーションを生み出すことができる人材を育成します。

【研究】～新しい価値を創造する～

大内文化に始まる洗練された伝統と、明治の革新的な「維新マインド」を背景に、地域の基幹総合大学として各専門分野での研究を極めるとともに、他分野や学外・国外の研究者との交流・連携を深め、新たな研究シーズを創出し、地域や時代が求めるニーズや課題に応える研究を推進します。研究成果の社会還元を目的に、科学技術イノベーション創出をリードし、文系と理系が融合する新たな研究や学問分野の創成を目指します。

【地域連携】～地域社会とともに前進する～

地域の基幹総合大学として、地域が抱える多様な課題の解決に地域と連携・協力しつつ取り組み、地域の『知』の拠点としての役割を明確にして、「地方創生」を牽引します。

「地方創生」に資するため、地域が求める人材の養成・育成を見据えた教育を推進するとともに、産業振興への寄与、イノベーション創出への取組等を通じ、地元への“人財”の定着の促進を図ります。

文化の香りのする地域の実現とともに、高度先進医療の提供、防災や環境に関する研究成果の展開などを通じて安全で安心して生活できる地域の実現に貢献します。

【グローバル化】～山口から世界に発信する～

留学生を含む全ての大学人と、地域の人々が、互いの歴史・文化・民俗・言語・宗教などの違いを超えて、共感・共鳴・共奏できる「ダイバーシティ・キャンパス」を目指します。

時空間を超えた“知の広場”で国内外の問題解決に繋がる『知』の創出を行うとともに、国籍を越えて「維新マインド」を持ち、世界、特にアジア地域の持続的な発展（サステナブル・アジア）に貢献し、日本発イノベーション（イノベーション・ジャパン）を生み出す人材を育成します。

以上の基本的な目標の実現のため、山口大学は、業務の効率化・合理化、財務内容の改善、自己点検・評価及び情報公開・発信などのそれぞれの観点で、組織改革、制度改革を断行し、教育研究環境の整備に努めます。

◆ 中期目標の期間及び教育研究組織

1 中期目標の期間

平成28年4月1日から平成34年3月31日までの6年間とする。

2 教育研究組織

この中期目標を達成するため、別表に記載する学部及び研究科等を置く。

I 大学の教育研究等の質の向上に関する目標

1 教育に関する目標

(1) 教育内容及び教育の成果等に関する目標

<1> 学生が修得すべき学修能力を明確化し、地域から世界までを視野に入れた実践的課題解決能力を培うための体系的な学士課程教育を実施する。

<2> 各専門領域の強み・特色を明確にし、時代の動向や社会構造の変化に対応する体系的な大学院教育を実施する。

<3> 地域社会のニーズに対応し、大学において社会人が新たな能力を獲得するための学び直しを推進する。

(2) 教育の実施体制等に関する目標

<4> 教学マネジメントを強化するとともに、修得すべき能力に対する到達度を客観的に示す評価方法を導入し、学生の学びを保証する。また、他大学との連携により教育体制を整備・強化し、教育の質を向上させる。

(3) 学生への支援に関する目標

<5> 学生が学修に専念できる環境を整備するため、経済支援を充実するとともに、学生の主体的な学びを促進する。

<6> 障害者に対する学修の機会を提供し、合理的配慮を行うことができるように、学生への支援を推進する。

(4) 入学者選抜に関する目標

<7> ダイバーシティ・キャンパスの実現を目指し、多様な価値観や経験、能力を持つ学生を受け入れ、また、高等学校教育で育まれた総合的な学力を発展・向上させるため、大学教育との接続に配慮した多様な評価・入試方法等の改善に取り組む。

2 研究に関する目標

(1) 研究水準及び研究の成果等に関する目標

< 8 >大学の独創的・先進的な研究を育成し、世界の学術研究をリードする「研究拠点群」を形成するとともに、異分野融合の特徴的な研究分野を開拓することにより、「地方創生」を牽引する「研究所・研究センター」として自立化させる。

< 9 >各部局・各研究分野における研究の多様性を確保し、地域の基幹総合大学に相応しい、個性的で独創的な研究領域の創出を育み、その国際展開を活性化する。

(2) 研究実施体制等に関する目標

< 10 >先進的・学際的な研究分野を創出するため、研究環境基盤の整備及び研究サポート体制を強化するとともに、研究への大学の資源の戦略的な投資や地域との人材交流を推進する。

< 11 >相互に連携できる自由でオープンな研究環境を育み、研究の多様化と異分野融合を進めることで、「地方創生」に繋がる科学技術イノベーションを創出する仕組みを整備・強化する。

3 社会との連携や社会貢献及び地域を志向した教育・研究に関する目標

< 12 >学術資産及び学術成果情報の発信を行い、地域の「知」の拠点として、「地方創生」を牽引し、地域課題解決のためのシンクタンク機能を強化する。

< 13 >若年層の流出超過を抑制し、活力ある地域を再生するため、地方自治体、地元産業界等と連携し、地域が求める人材の育成、そのための教育プログラムの構築を行うとともに、優れた人材の地域への定着を図るため、地元就職率の向上、雇用創出の推進に貢献する。

4 その他の目標

(1) グローバル化に関する目標

< 14 >大学のグローバル化を総合的に推進するとともに、留学生を含む全ての大学人が、互いの歴史、文化、民俗、言語、宗教などの違いを超えて、共感、共鳴、共奏できる「ダイバーシティ・キャンパス」を実現する。

(2) 附属病院に関する目標

< 15 >山口県唯一の特定機能病院、地域の拠点病院及び三次救急病院として、質の高い臨床研究による新たな医薬品・医療技術等の研究開発や山口県の地域医療に貢献する医療人育成のためのキャリア形成支援を充実させ、地域医療の発展・充実に貢献する。

(3) 附属学校に関する目標

< 16 >地域の学校園における実践的課題解決に資するべく、先導的・実験的な教育研究活動を行う。

< 17 >大学・学部、附属学校、地域教委等の学内外関係者の協働組織による学校運営の検討・改善を行う。

<18>大学・学部並びに地域教育機関の教育・研究資源及び成果を活用し、先進的教育を行うことを通して、地域の行政機関や公立学校、保護者等のニーズに対応した支援を進める。

II 業務運営の改善及び効率化に関する目標

1 組織運営の改善に関する目標

<19>学長のリーダーシップを発揮できる環境を整え、迅速な意思決定を行うとともに、学外からの意見を積極的に活用し、戦略的・機動的な法人運営を行う。また、全学的な視点から戦略的・計画的な教職員配置を行う。

<20>適正な人事評価のもと、研修体系等を充実させ、大学のビジョン実現に沿う多様な人材を育成する。

<21>人事・給与システムの弾力化を行い、大学のビジョン実現に沿う多様な人材を確保する。

<22>教職員が個々の生活に合った様々なワーク・ライフを両立し、安心して個性と能力を十分に発揮できる男女共同参画の実現を推進する。

2 教育研究組織の見直しに関する目標

<23>学生や社会のニーズを踏まえて、学士課程教育と大学院教育の連携の強化及び学部間、研究科間の垣根を越えた一体的な改革を進め、柔軟かつ不断に教育研究組織と学生定員の見直しを行う。

3 事務等の効率化・合理化に関する目標

<24>事務業務の効率化・合理化及び事務組織の見直しを不断に進め、限りある人的資源を有効に活用する。

III 財務内容の改善に関する目標

1 外部研究資金、寄附金その他自己収入の増加に関する目標

<25>競争的資金、寄附金及びその他の自己収入を確保し、健全な教育・研究環境の基盤を強化する。

2 経費の抑制に関する目標

<26>安定的な法人運営に資するための学内予算の見直しや、適正な人件費管理に取り組む。

3 資産の運用管理の改善に関する目標

<27>大学の保有する資産について、その目的に応じて有効に活用する。

IV 自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供に関する目標

1 評価の充実に関する目標

<28>大学の諸活動に係る自己点検・評価を行い、その結果を大学の意思決定や戦略的な運営に活用する。

2 情報公開や情報発信等の推進に関する目標

<29>社会から求められている情報はもとより、大学の諸活動に係る情報を積極的に公表するとともに、学外関係者や地域社会のニーズに基づいた分かりやすい情報提供を行う。

V その他業務運営に関する重要目標

1 施設設備の整備・活用等に関する目標

<30>高度化・多様化した教育研究・医療及び地域活性化の使命達成に向けた施設の整備を推進する。

2 安全管理・環境配慮に関する目標

<31>災害及び事件・事故の危機発生時の安全管理に関する各種体制の整備を進め、学生や教職員等の安全文化の醸成に取り組むことで事件・事故を未然に防止するとともに、衛生管理体制の充実を図り、健康的な環境を創出する。

3 法令遵守等に関する目標

<32>大学人としての社会的責任の重さを教職員が常に認識し、研究費の適正使用及び研究不正防止に関する意識を徹底するとともに、それらの不正を未然に防止する実効性のある取組を行う。また、大学が保有する情報資産を守るため、適切な情報セキュリティ対策を実施する。

別表1 (学部・研究科)

学 部	人 文 学 部 教 育 学 部 経 済 学 部 理 学 部 医 学 部 工 学 部 農 学 部 共 同 獣 医 学 部 国 際 総 合 科 学 部
研 究 科	人 文 科 学 研 究 科 教 育 学 研 究 科 経 済 学 研 究 科 医 学 系 研 究 科 創 成 科 学 研 究 科 東 ア ジ ア 研 究 科 技 術 経 営 研 究 科 連 合 獣 医 学 研 究 科 (H31 募 集 停 止) 共 同 獣 医 学 研 究 科

(連合獣医学研究科参加校)

大 学 名	山 口 大 学 (基幹校) 鳥 取 大 学 鹿 児 島 大 学
-------------	---------------------------------------

※本学は鳥取大学大学院連合農学研究科の参加校である。

別表2 (共同利用・共同研究拠点, 教育関係共同利用拠点)

<p>【教育関係共同利用拠点】 「知的財産教育研究共同利用拠点 (知的財産センター)」</p>
--